

# 進行中の主な海外港湾プロジェクト

## ケニトラ大西洋新港建設事業 (モロッコ)

- 円借款で完成自動車やバルク貨物(穀物)を取り扱う新港を建設。
- 2018年よりJICAがF/Sを実施中。

## ダカール港第三埠頭改修事業 (セネガル)

- 無償資金協力でバルク貨物(穀物)を取り扱う埠頭を整備。
- 2019年1月に埠頭の工事を本邦企業が受注。

## ラ・ウニオン港開発事業 (エルサルバドル)

- 円借款でコンテナやバルク貨物を扱う新港を建設(開業済)。
- エルサルバドル政府はコンセッションによる港湾運営を検討中。

## アビジャン港穀物バース建設事業 (コートジボワール)

- STEP※を適用し、円借款でバルク貨物(穀物)を取り扱うバースを新設。
- 2019年11月に岸壁の工事を本邦企業が受注。

## モンバサ港開発事業(ケニア)

- STEP※を適用し、円借款でコンテナターミナルを整備。
- 2017年8月に荷役機械の調達を本邦企業が受注。
- 2018年3月にターミナルの工事を本邦企業が受注。
- 2020年2月に同港内でSTEPを活用し、円借款でSEZと一体となった港湾開発を行うことで、L/A署名。

## 港湾整備事業(第二期)(イラク)

- STEP※を適用し、円借款で港湾施設整備及び船舶調達を実施。
- 2017年3月に荷役機械調達を本邦企業が受注。
- 2018年5月に岸壁工事及び船舶調達を本邦企業が受注。

## マタハリ港開発事業(バングラデシュ)

- 円借款でコンテナターミナル及び多目的ターミナルを新設。既に円借款で整備中の火力発電所の石炭専用港と併せ、多目的商業港として整備。
- 2020年9月に調査・設計のための役務を本邦企業と現地企業のJVが受注。

## マンダレー港整備事業(ミャンマー)

- 無償資金協力で内陸水運用の港湾施設を整備。
- 2019年5月に本邦企業が土木工事部分を受注。

## ティラワ港開発事業(ミャンマー)

- SEZと一体となった多目的ターミナル。フェーズ1において、円借款での施設整備とターミナル運営に本邦企業が参画。
- フェーズ2事業に向けて調整中。

## ダウエー開発事業(ミャンマー)

- SEZと一体となった港湾開発について、JICAがプレF/Sを実施。

## シハヌークビル港新コンテナターミナル整備事業、拡張事業(カンボジア)

- 円借款で新たなコンテナターミナルを海上に整備・拡張。
- JICAが、整備事業のD/Dを実施中、拡張事業のF/Sを2020年11月に開始。

## パティンバン港開発・運営事業 (インドネシア)

- STEP※を適用し、円借款でコンテナ及び自動車ターミナルを新設。
- 2018年にターミナル、外郭施設、アクセス道路の工事を本邦企業が受注、2021年中にフェーズ1-1完工予定。
- 2020年10月に運営者選定PQを現地企業コンソーシアム1者が通過。



## ナカラ港開発事業 (モザンビーク)

- 円借款でコンテナターミナルを整備。
- 2018年1月にターミナル、アクセス道路等の工事を本邦企業が受注。
- 2018年3月に荷役機械の調達を本邦企業が受注。

## トアマシナ港拡張事業 (マダガスカル)

- 円借款でコンテナターミナル等を整備。
- 2018年2月に消波ブロックの製作工事を本邦企業が受注。
- 2020年2月にターミナル、外郭施設の工事を本邦企業が受注。

## コロombo南港東ターミナル 拡張・運営事業 (スリランカ)

- 2019年5月に日本・スリランカ・インドの間で開発の協力に関する覚書に署名。